

貧酸素水塊速報 (2015年)

【発行】 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
 神奈川県水産技術センター 内湾底びき網研究会連合会
 【協力】 千葉県環境研究センター 東京都環境局
 第三管区海上保安本部 (独)国立環境研究所
 モニタリングポスト(海上保安庁,国土交通省 関東地方整備局)
 (今回の速報は" "の機関の観測データを使用して作成しました)

平成27年5月18～20日観測結果

貧酸素水塊は茜浜地先と姉ヶ崎地先及び川崎地先に見られています(図1)。

縦断ラインでの鉛直分布では、溶存酸素量2.5mL/L以下の水塊の厚みはごく薄く、規模は直近10年の平均に比べ小さいです(図2, 3)。

水温は表層は19～21℃、底層は14～18℃です。

内湾中央～北部の広範囲で海面が褐色を呈する赤潮状態になっています。

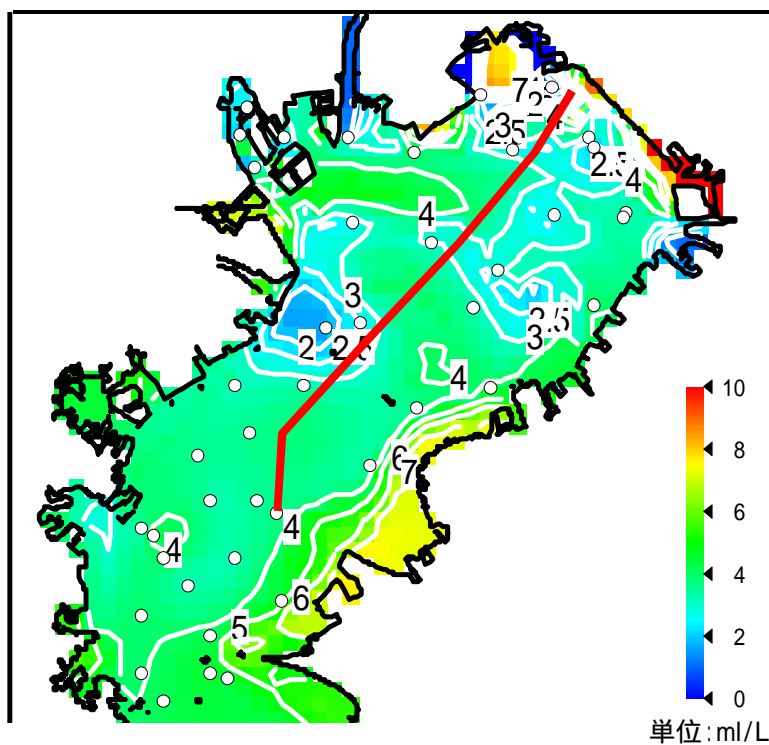


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

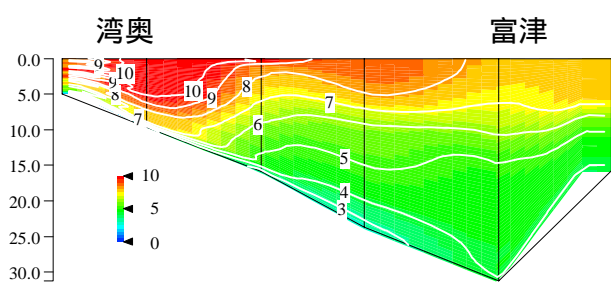


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

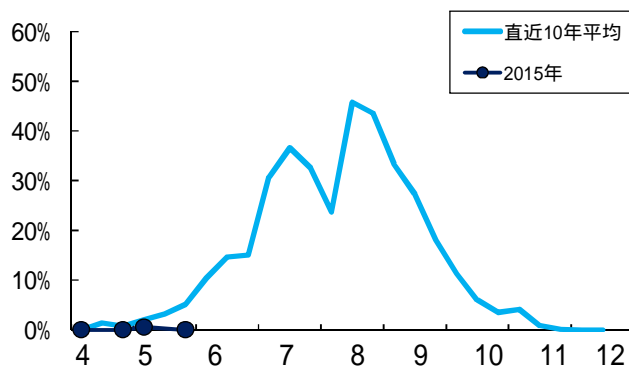


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)